

## 単元名 球技(ネット型)〈バドミントン〉

配当時間 14時間

- 単元の目標 (1) 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、バドミントンの特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解するとともに、ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。
- (2) 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。
- (3) バドミントンに積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ったり、作戦などについての話し合いに参加したり、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めたり、仲間の学習を援助したり、健康・安全に気を配ったりしようとする。

## 標準的な展開例

13300118\_001

【準備等】ラケット、シャトル、支柱、ネット、得点板、学習カード、学習資料

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 バドミントンの特性を知り、学習の見通しをもつ。</p> <p>★バドミントンの特性を知ろう。</p> <p>○バドミントンの特性や成り立ちを知る。</p> <p>○学習のねらいや進め方を知る。</p> <p>○学習カードや資料の使い方を知る。</p> <p>○マナーや安全な運動の仕方を知る。</p> <p>○試しのゲームをし、めあてをつかむ。</p> <p>2～4 バドミントンの基本的な技能を練習する。</p> <p>★基本的な技能を身に付けよう。</p> <p>○ラケット・シャトルに慣れる練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・止まってシャトルを打つ。</li> <li>・移動しながらシャトルを打つ。</li> <li>・ラケットの両面を使ってシャトルを打つ。</li> </ul> <p>○サービスの練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ショートサービス</li> <li>・ロングサービス</li> </ul> <p>○ストロークの練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンダーハンドストローク</li> <li>・オーバーヘッドストローク</li> </ul> <p>○ラリーゲームをする。</p> <p>5～7 コートの空いた場所をねらったゲームをする。</p> <p>★打ち方に強弱をつけて攻撃しよう。</p> <p>○基本的な技能の確認をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス</li> <li>・ストローク</li> </ul> <p>○強弱をつけた打ち方を練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネット際をねらう。</li> <li>・コートの手前や奥をねらう。</li> </ul> <p>○簡易ゲームをする。</p> <p>8～11 攻撃に必要な技能を使った簡易ゲームをする。</p> <p>★ゲームで得点を取ろう。</p> <p>○グループごとの練習をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットを挟んで、攻撃を組み立てたり、防御を工夫したりしてシャトルを打ち合うゲームの特性を理解させる。</li> <li>・バドミントンの特性や成り立ちを説明する。</li> <li>・技術の名称や行い方、関連して高まる体力については、単元を通して理解できるようにする。</li> <li>・空いた場所への返球、相手の打球に備えた準備姿勢など、ネット型の球技特有の動きや特性について考えさせる。</li> <li>・ルールについては、随時教えていく。</li> <li>・1グループは、偶数の人数で構成する。</li> <li>・ウエスタングリップとイースタングリップの違いを知らせる。</li> <li>・生徒1人に1つのラケットとシャトルを持たせて練習させる。</li> <li>・サービスで得点になるコートの範囲やサービス時のフォルトについて説明する。</li> <li>・ラケットの中心付近でシャトルを捉えることを意識させる。</li> <li>・アンダーハンドストロークについては、フォアハンドストローク、バックハンドストロークどちらの打ち方も練習させる。</li> <li>・オーバーヘッドストロークについては、フォアハンドストロークのみ練習させる。</li> <li>・返球方向へラケットの面を向けるよう、意識させる。</li> <li>・ラケットハンドと同じ側の足を前方に踏み出しながら打つようにさせる。</li> <li>【評】基本的な技能の練習を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> <li>・学習したストロークを使って、より長くラリーを続けたペアの勝ちとする。</li> <li>・2人組でネットを挟んで打ち合いをする。</li> <li>・サービスから始め、相手が打ちやすいように返球し、長くラリーが続くようにさせる。</li> <li>・シャトルを強く打ったり、弱く打ったりしてコートの空いた場所へ返球できるようにさせる。</li> <li>【評】強弱をつけた打ち方の練習を通して「知識・技能」を評価する。</li> <li>・基本的な技能や強弱をつかって得点をとるようなことが意識できる声掛けをする。</li> <li>・打ち返した後は常に定位置に戻り、相手からの返球に備えた準備姿勢をとるように意識させる。</li> <li>・簡易ゲームで気付いたことを学習カードに記入させる。</li> <li>【評】学習カードの記入を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な技能の確認</li> <li>・ラリー</li> <li>・サービス</li> </ul> <p>○攻撃に必要な技能を練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘアピン</li> <li>・プッシュ</li> <li>・スマッシュ</li> <li>・ドロップ</li> </ul> <p>○簡易ゲームをする。</p> <p>○活動を振り返り、まとめをする。</p> <p>12～14 ダブルスでリーグ戦をする。</p> <p>★仲間との連携を生かしたゲームをしよう。</p> <p>○ペアで作戦を確認し、練習をする。</p> <p>○ルールを確認する。</p> <p>○リーグ戦でゲームをする。</p> <p>○活動を振り返り、次時の練習計画を立てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの技能が必要な場面を説明する。</li> </ul> <p>【評】攻撃に必要な技能の練習を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・練習した攻撃の方法をゲームで行うよう、意識させる。</li> </ul> <p>【評】簡易ゲームを通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習カードを利用し、攻撃に必要な技能が身に付いたか振り返りをする。</li> </ul> <p>【評】活動を振り返り、まとめをする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ダブルスのペアで考えた作戦に合った練習をさせる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正規のダブルスのルールでゲームをさせる。</li> <li>・守備の際には、味方の動きに合わせて、コート上の空いている場所をカバーさせる。</li> <li>・相手や仲間の素晴らしいプレイやフェアなプレイを認め合うことを意識させる。</li> </ul> <p>【評】リーグ戦を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで考えた作戦が効果的であったかを振り返り、次時の活動に反映させる。</li> </ul> <p>【評】次時の練習計画を立てる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>【評】単元全体の活動やリーグ戦で評価し合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>
--	---

【 備 考 】

バドミントンは、コート上でネットを挟んで相対し、身体やラケットを操作してシャトルを空いている場所へ返球し、一定の得点に早く到達することを競い合うゲームである。本単元では、基本的な技能や仲間と連携した動きを発展させて、作戦に応じた技能で仲間と連携し、ゲームが展開できるようにする。